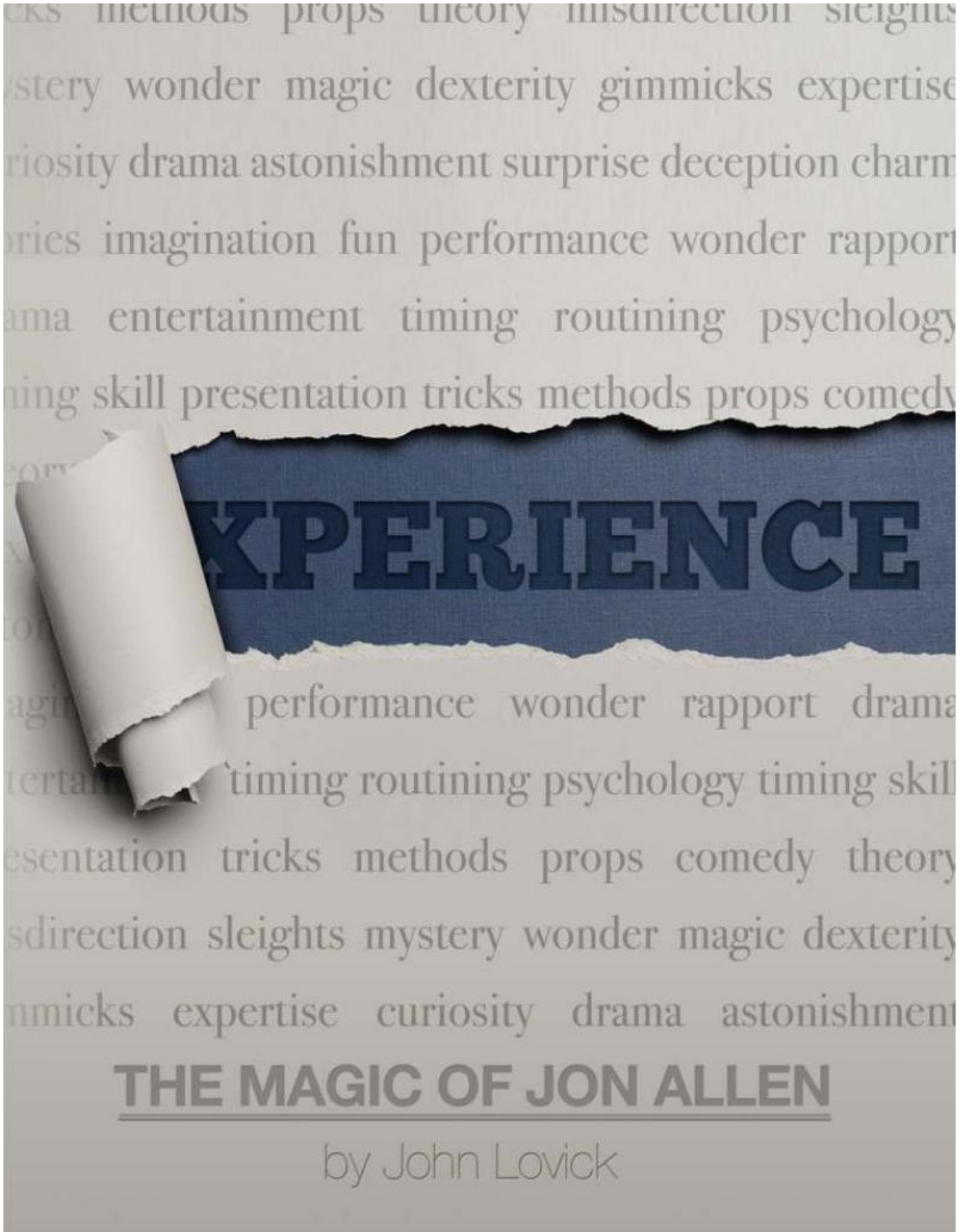




EXPERIENCE

THE MAGIC OF JON ALLEN

by John Lovick

<日本語解説書:PDF ファイル:自動翻訳>

体験：

ジョン・アレンのマジック

文：ジョン・ロヴィック

写真：ナイジェル・バイド

追加写真：アンドルー・マレー

デザイン：アンディ・グラッドウィン

表紙コンセプト：ジョン・アレン

編集：タイラー・ウィルソン、ラジ・マドック、ジョ
シュア・ジェイ、アンディ・グラッドウィン

VANISHING INC.
www.vanishingincmagic.com

捧げます：

メラニー、ザカリー、ジョシュア

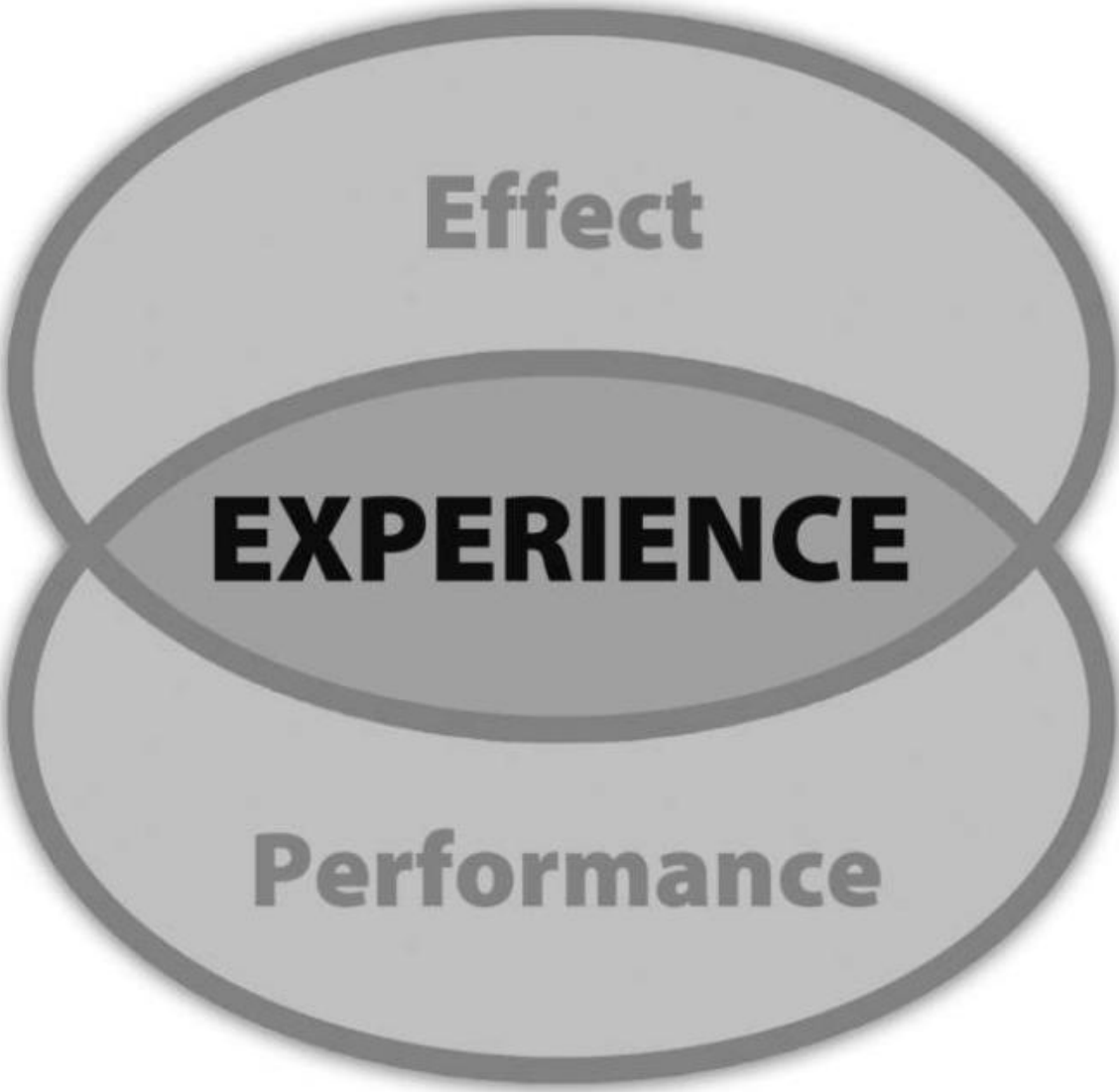
目次

序文：出版社からのメッセージ.....	xiii
グレゴリー・ウィルソンによる序文.....	xv
ジョン・アレンによるはじめに.....	xvii
第1部：トリックとルーティン第1章：I.B.M.コンペティション・アクト	
『I.B.M.コンペティション・アクト』.....	5
ビッグ・シグ.....	9
トラベレックス.....	10
孤立した二等辺三角形.....	12
トライユニティ.....	16
臀筋予言.....	17
リング型パーティーポッパーの鳴らし方.....	18
第2章：クロースアップ&ウォークアラウンド・マジック	
ゴースト.....	23
フレディは死んだ.....	29
シチズン・ケイン.....	38
ストライキング・リング・スイッチ.....	1
『ザ・ホール』.....	44
ユニーク・コイン・ベンド.....	48
奇妙な科学.....	50
トゥルー・ライズ.....	53
E.T.	55
バーニング・ラバー.....	60
リストバンド.....	61
バンド・イット.....	61
クレイジーマンの手錠.....	63
『ザ・フィンガー』.....	64
スナップバック.....	66
リストレーション.....	66
手のひらを上に向けた紙幣のすり替え.....	70
インナー・スペース.....	76
オーラルガミ.....	78
第3章：カードマジック	
ハイ・ソサエティ.....	85
封筒の中の思い浮かべたカード.....	89
一芸で二つの名前.....	92

エグゼクティブ・ディシジョン.....	95
1709 ウォークアウト.....	99
『ウェディング・トリック』.....	103
『アウト・オブ・サイト』.....	107
あらゆる困難に立ち向かって.....	110
ラッキー・カード.....	113
『ユージュアル・サスペクツ』.....	116
自然のフォース.....	120
ドロップ・ゾーン.....	122
第4章：スタンドアップ・マジック	
グラビット・プロダクション.....	127
シグナル・ストレングス.....	130
世界で一番面白いジョーク.....	134
クレジットカット.....	137
ホワイトノイズ.....	138
第2部：技、シーケンス、そしてちょっとしたコツ 第5章：カード	
バジル.....	147
四銃	
士.....	153
『アウト・オブ・ユア・ブレイン』.....	157
「インビジブル・パーム」フィナーレ.....	159
第6章：雑記	
双子.....	163
ヘリコプター・バンド.....	165
ラテックス・ジニー.....	167
プッシュ・スルー・ムーブ.....	170
リング・オフ・ストリング・ムーブ.....	172
先端なし紙幣交換・隠し技.....	175
第3節：さらなる展開	
第7章：いくつかの筋書きに関する発表と考察	
「コイン・アクロス」のフィナーレ.....	177
ノープレッシャー・カードスプレッド.....	183
アドリビティシヤス・カード.....	186
デスティネーション・ボックス.....	190
お子様向けデスティネーション・ボックス.....	193
シュレーディングアのカード.....	194

体験：

ジョン・アレンのマジック



A Venn diagram consisting of two overlapping circles. The top circle is labeled 'Effect' and the bottom circle is labeled 'Performance'. The intersection of the two circles is labeled 'EXPERIENCE' in bold, uppercase letters.

Effect

EXPERIENCE

Performance

序文

出版社からのメッセージ

ある日の午後——実は、まったくの思いつきでしたが——インドカレーを囲んでの会話が、予想外の方向へと転じました。「マジックの本を出版しよう！」というのです。そのアイデアはコンセプトとしては単純でしたが、当時から私たちは、実行するのは難しいだろうとわかっていました。私たちは、自分たちが読みたいと思うようなマジックの本を出版することにしたのです。デザートをいただく頃には、目標が定まっていました：ジョン・アレン氏ならではのマジックを扱った本を出すことは、迷う余地のない選択でした。彼には、一人の人間にめったに見られない多くの資質が備わっています。考えてみてください。彼は多作なクリエイターでありながら、マジック界ではまだ十分に注目されていません。多忙なプロフェッショナルでありながら、レパトリーのほぼすべてをオリジナルのマジックで構成しています。ジョンは、クローズアップとスタンドアップの両方の形式に等しく精通しています。彼は最高峰のマジシャンでありながら、謙虚で、私たちにとってかけがえのない友人でもあります。何よりも、彼は実用的なアーティストです。つまり、彼の演目の多くは、私たちマジシャンだけが真に理解できる、型破りで方法論的に興味深い技法を特徴としています。同時に、これは単なる空想の集まりではありません。各ルーティンに込められた繊細な工夫は、この演目がどれほど実用的で、十分に検証されているかを如実に物語っているはずです。

独創的で実用的、しかもそのほとんどが未発表のマジックが詰まった本？ その多くがカードを使わないもの？ スタンドアップ・マジックも含まれている？ ジョン・アレン氏と共著で本を出版するという決断は簡単でした。しかし、どうやって？ 第一歩：まずジョンを説得しなければなりませんでした。私たちは賄賂を使いました。

「マジック本の出版は、もはや数十億ドル規模の産業ではありません」と、私たちは再びインドカレーを囲みながら切り出しました。「しかし、他の方法でその分を補うことは可能です。あなたの本は最高水準の著者によって執筆され、解説用の写真は業界の新たな基準となることをお約束します。」デザートをいただく頃には、契約が成立していました。

アレン氏への約束を果たすため、私たちは直ちにジョン・ロヴィック氏に打診しました（スマートフォンで——彼はカレーが嫌いですから）。私たちは『*The Paper Engine*』（2002年）や『*SWITCH*』（2006年）での彼の演技を高く評価しており、クローズアップやパーラーマジックの分野でのパフォーマンス経験も考慮すると、二人のジョン（Jo(h)ns）はまさにうってつけの組み合わせでした。また、写真担当としてナイジェル・バイド氏を選んだのは自然な流れでした。私たちは長年にわたり、マジック以外の分野における彼の作品にも感銘を受けてきたからです。

これからお読みいただくこの作品集は、これらの方々の懸命な努力による共同の成果です。お一人お一人が私たちの高い期待を上回る成果を上げてくださり、その内容と表現方法に、計り知れないほど満足しております。――

英国で最も多忙なプロの一人による、これほどまでに考えさせられる重要な作品を、マジック界に紹介できることを光栄に思います。当初の抱負通り、これはまさに私たちが最も楽しんで読める類の本です。皆様にも同じ喜びをお届けできれば幸いです。

ジョシュア・ジェイ、アンディ・グラッドウィ

ン Vanishing Inc. マジック 共同創設者 2009年6月

グレゴリー・ウィルソンによる

序文

海外旅行には、何か魔法のような魅力があります。新しい場所を訪れ、新しい人々と出会い、慣れ親しんだ環境から抜け出し、驚異的な新しい体験を味わうことができます。どの場所にも、その場所ならではの特別な喜びがあります——ジョン・アレンとの出会いのように。私は世界中で数多くのマジシャンを見てきましたが、イギリスのジョン・アレンは間違いなく最高のひとりです。彼は「本質」をしっかりと理解しています。

私たちが出会ったのは約10年前ですが、それ以来、すぐに親しい友人になりました。というのも、彼は普通のマジシャンではないからです。私はさまざまな場面でジョンのパフォーマンスを見てきましたが、彼は一般の人々を喜ばせ、マジシャンたちを圧倒できる数少ないエリートの一人です！なぜでしょうか？ジョンの創作は、ストレートで、欺瞞に満ち、そして圧倒的なのです。

本書に掲載されている手品については、珠玉の作品が幅広く収録されています。私のために注目するのは、「アドリビシャス・カード」、「パーティー・ポッパーの中のリング」、「ウェディング・トリック」、「フレディは死んだ」、「ラッキー・カード」、そして「シュレーディングアのカード」です。

ジョンと『Experience』に収録された多彩な手品に対する、私からの最高の賛辞はこうです。マジシャンは、このかけがえのない一冊に収録された現象だけを使って、マジック・キャッスルの3つの会場——クロースアップ、パーラー、ステージ——すべてで一晩中パフォーマンスを行うことができるでしょう。

繰り返しになりますが、ジョン・アレンには本当に理解があります……。

- 彼は、ゼロからルーティンを革新する方法があります。
- 彼は、既存のエフェクトを自分流にアレンジする方法があります。
- 彼は、無意味な雑多な要素をカットする方法を理解しています。
- 彼は、マジックがパフォーマンスアートであることを理解しています。
- 彼は、考えを早々に止めてはいけないということを理解しています。
- 彼は、自分のパフォーマンスに観客の関心を引く方法を理解しています。
- 彼は、どんな観客にも合うようにマジックをカスタマイズする方法があります。

彼の経験を活かして実践すれば、いつの日か私たちも実は「その真髄」を理解できるようになるでしょう。

グレゴリー・ウィルソン

2009年6月

ジョン・アレンによるはじめに

私は、人はあなたの言ったことやしたことは忘れてしまうかもしれませんが、あなたがその人にどのような気持ちを抱かせただけは、決して忘れないということを習得しました。

—マヤ・アンジェロウ

何かがマジックだからといって、それが良いマジックであるとは限りません。「ご来場の皆様」と、マジシャンはこう切り出します。「これから、ランダムに選ばれた4枚のカードを、皆様が選んだ4枚のカードに変えてみせます。ご覧ください！カードの裏面の色も変わりました。

それに、カードのの下に4枚の中国硬貨があることには、きっと気づかなかったでしょう。私がそれらをそれぞれ拳で握りしめると、スポンジボール、耳栓、プラスチック製の猫、そして地球儀に変わってしまうのです。」

意味のないマジックです。

理由もなく手品が披露されるのを見るのは好きではありません。私は、観客を惹きつけ、物語に引き込み、時間を費やす価値のある何かを与えてくれる手品を好みます。その魅力は、現象、演出、パフォーマンス、あるいはそのすべてから生まれるものです。

本書に収録された手品は、クローズアップからパーラー、ステージまで、難易度も簡単なものから難しいもの、そしてほぼ不可能なものまで多岐にわたります。しかし、そのすべてが観客に単なる錯覚以上の何かをもたらします。一つひとつが、観客の視点に立って慎重に考案されています。これらの手品は、マジックに詳しくない一般の観客にとっても魅力的です。皆様にとっても、興味深いものとなることを願っております。

本書に掲載されているルーティンのほとんどは、長年にわたり私の実演レパートリーとして親しんできたものであり、それらを皆様と共有できることを光栄に思います。本書の中で皆様の心を惹くものが何であれ、それが皆様と観客の皆様に、唯一無二の体験をもたらすことを願っております。

ジョン・アレン

2009年6月 英国・ロンドン

トリックとルーティン

第1部

I.B.M.

コンペティション・

アクト

第1章

I.B.M.コンテスト演目

1994年、ジョンはアメリカで開催されたI.B.M.の大会に初めて参加しました。彼は翌年、クローズアップ部門のコンテストに出場するために再び参加することを決意しました。彼はすでに、ここで紹介する演目となる要素を取り入れた他のコンテストにも出場していました。その翌年、幸運（コヴェント・ガーデンへの旅行中に道具を見つけたこと）、綿密な計画（ユニークなトランプデッキにかなりの金額を費やしたこと）、そして友人たちからの助言が相まって、この演目が完成し、1995年にカリフォルニア州オークランドで開催されたI.B.M.のクローズアップ競技会で優勝を果たしました。

ご覧いただければお分かりのように、これは文字通りの「演目」であり、始まり、中間、そして物語を完結させる結末を備えています。この演目を成立させるためには、舞台裏で多くの工夫が凝らされており、とりわけ、秘密の仕掛けが行われているタイミングの境界線を曖昧にする、いくつかの要素の連結が重要な役割を果たしています。また、ジョン氏は、既知の技法を用いた既知の演出と、アンノウンな技法を用いた未知の演出を組み合わせることに細心の注意を払いました。

コンテストの演目は、以下の6つの現象で構成されていました。

「**ザ・ビッグ・シグ**」：借りたジャケットから、長さ2フィートの固形のタバコが現れます。「**トラベレックス**」：金属製のハンガーが消え、3枚のコインと場所を交換します。「**アイソレイテッド・アイソセレス**」：極めてクリーンな3枚のコインを使ったマトリックス・ルーティンです。

「**Triumphinity**」：カードを裏表に真正面からシャッフルする「トライアンフ」ルーティンです。観客の一人にカードをシャッフルしてもらう場面もあります。

「**Gluteus Prediction**」：ユーモラスな視覚ギャグの後に、観客の一人が、自分が座っていた場所からカードが出てきて、それが先ほど選んだカードと一致していることに気づきます。

「**リング・イン・パーティー・ポッパー**」：借りたリングが消え、演目の最初からテーブルの上に置かれていたパーティー・ポッパーの中に再び現れます。

この説明をお読みになる際、すべての現象がどのように絡み合っているか、また、あるトリックの自然な動作の合間に、別のトリックへの準備が密に行われている点に注目してください。例えば、道具が公然とケースから取り出されたり戻されたりする一方で、他の道具は密かに捨てられたり隠されたりしています。すべての道具は互いに密接に関連しているため、この演目から単一の要素を取り除くと、演目内の他のトリックに悪影響を及ぼしてしまいます。ジョンが演じた通りにこの演目を再現して披露することを期待しているわけではありませんが、その構成を注意深く研究することで、ルーティンの組み立て、タイミング、構造について多くのことを習得することができます。――

必要なもの

「ザ・ビッグ・シグ」を行うには、郵送用チューブ（長さ約2フィート）、白いコンタクトペーパー、薄茶色のコンタクトペーパー、数平方インチ分の発泡ゴムと茶色のカーペット、PVC用接着剤または両面カーペットテープ、ジャンボマッチ（実は長さ約12インチの大型のノベルティライターです。安価で、オンラインで簡単に検索すれば複数の販売元が見つかります）、そしてネオジム磁石（非常に強力な希土類磁石の一種で、オンラインで簡単に手に入ります）が必要です。

「トラベレックス」を作るには、はんだ線が必要です。これは、良質な金物店ならどこでも手に入ります。はんだ線にはさまざまな太さがありますが、直径約2mmのものが適しています。また、はんだ線と色や太さが似たワイヤー製のハンガーも必要です。不透明なティッシュペーパーを2枚、正方形に切っておいてください。大きい方の対角線の長さは、ハンガーの幅よりわずかに長く、およそ21インチです。小さ

い方は大きい方の約3分の2の大きさ、つまりおよそ14インチです。また、通常のハーフダラー硬貨3枚と小銭入れも必要です。小銭入れは、マジシャンがよく使うような平らなタイプではなく、内側に少しボリュームがあり、やや丸みを帯びたものを選んでください。

一以下省略一

(有)フェザータッチ MAGIC

www.ftmagic.jp